

3. 中期計画

3.1 第1期中期計画（平成23年度～28年度）における平成28年度計画と実績

3.1.1 平成28年度計画の概略（石川県公立大学法人 平成28年度計画 概要版より抜粋）

- 平成28年度は、引き続き「学生満足度の高い教育の提供」「地域貢献活動の充実」「学生確保に向けた広報活動の充実」「弾力的・機動的な法人運営」の4つを柱に掲げ、業務に取り組む。
- 平成28年度は、第1期中期計画（6年間）の最終年度であり、着実に中期計画を達成できるよう当計画を実行するとともに、次期中期計画に向けた取り組みについても準備を進める。

看護大学

今後の中長期的な将来構想の策定

- ・近隣に看護系大学が増加しており、大学間競争に打ち勝つための更なる魅力向上策や高齢化社会の進展などこれからの時代に即した看護教育のあり方を検討し、将来構想を策定する。
- ・看護キャリア支援センターの事業の一環として、平成29年度からの認知症看護認定看護師教育課程設置に向けて、日本看護協会への認可申請や受講生募集等の開講準備を進める。

「地方創生」「地域貢献」に向けた取り組み

- ・かほく市をはじめとした県内市町との連携のもと、教職員・学生が一体となって地域のニーズにこたえる教育研究や地域活動を行い、学生の社会人基礎力を育成するとともに研究成果を地域に還元する。また、これらの活動を通じて、学生の地域への理解を深めながら関わりを強化し、地元定着を図る。
- ・COC+ ※参加大学として、奥能登を始めとする各自治体と連携し、地域における学生のインターンシップを介して、地域活性化や地元定着を図る。
※地（知）の拠点大学による地方創生推進事業

学習支援の充実

学生が大学教育へ早期に適応できるよう、アカデミックリテラシー※向上の取り組みを充実させるとともに、生活相談や修学支援情報の周知、図書館による学習支援等、初学年の学習支援を拡充する。
※「調べる」「書く」「意見を述べる」等の大学での学習に必要な基礎的能力

学外組織との連携強化

臨床現場のニーズに合った人材育成に資するため、医療機関等の職員が集まる実習指導者会議や北陸三県看護部長懇談会等を通して情報交換を行い、現場のニーズを把握するとともに、行政・保健所・医療機関等との連携強化を図る。

自己点検評価の実施

認証評価機関による7年ごとの評価だけではなく、社会貢献活動や教育研究活動を含めた大学全体の活動を2年ごとに自己点検するための評価報告書を作成し、外部評価者を交えてこれまでの成果と今後の改善点を検討する。

3.1.2 平成28年度計画の実績の概略

(石川県公立大学法人 平成28年度業務実績報告書の概要より抜粋)

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 学部課程の充実

(1) サービス・ラーニングの推進

地域で生活する人との関わりを通じて、地域の暮らしや文化等の理解を深めるとともに社会人基礎力を育成するため、能登町と連携し、民泊を取り入れたフィールド実習を実施した。また、かほく市や津幡町と連携した健康増進活動を通して、学生が積極的に地域住民との交流を行った。

(2) 国際交流の推進

米国ワシントン大学での看護研修に加え、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」の一環として、タイのチェンマイ大学での看護研修を実施し、学生が異文化における医療保健福祉システムや看護師の役割等について理解を深めた。

(3) 学修支援の充実

学生が大学教育へ早期に適応できるよう、初学年学修支援の一環として、アカデミック・リテラシー向上に取り組むとともに、新たにラーニング・コモンズを設置して学修環境を整備した。

2 大学院課程の充実

(1) 高度な看護教育の提供

米国ノースカロライナ大学教授を招聘し、特別講演会の開催や大学院生等に対する指導を行うとともに、「北陸高度がんプロチーム養成基盤形成プラン」事業において、がん看護事例検討会に先進医療機関のがん看護専門看護師を招いて、最新情報や知見を提供した。

(2) 臨床現場との連携強化

専門看護師（CNS）等の実践能力向上に向け、医療機関等の職員が集まる「大学院教育懇談会」等を通して情報交換を行い、臨床現場におけるニーズを把握するとともに臨地実習の充実を図った。

3 地域貢献及び国際貢献の推進

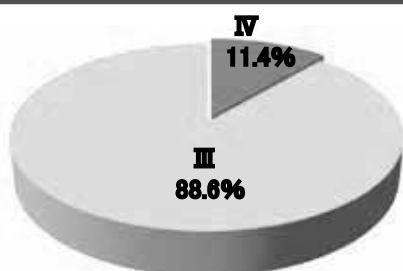
(1) 地域貢献事業の推進

看護キャリア支援センターにおいて、「感染管理認定看護師教育課程」に加え、「認定看護管理者教育課程（サードレベル）」を新たに開講し、看護職者のキャリア形成支援を行った。また、地域ケア総合センターにおいて、看護実践力を向上させるための各種事例検討会を開催し、地域の看護人材育成に努めた。

(2) 国際貢献事業の推進

JICAと連携して日系研修及び青年研修を実施し、海外研修員の受け入れを行った。（ブラジル1名、パラグアイ1名、カンボジア15名）

項目別評価の状況



項目	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅰ	計
教育	7	55	0	0	62
研究	1	10	0	0	11
地域貢献等	2	13	0	0	15
計	10	78	0	0	88

※Ⅳ…年度計画を上回って実施している。 Ⅲ…年度計画を順調に実施している。

Ⅱ…年度計画を十分には実施していない。 Ⅰ…年度計画を実施していない。

業務運営の改善・効率化に関する目標

- 1 次期中期計画の策定
第1期中期計画の最終年度であるため、在学生・卒業生・高校生等へのアンケート調査、企業へのヒアリング調査及び経営分析を実施し、大学の将来を見据えて第2期中期計画を策定した。
- 2 大学間連携等の推進
 - ・看護大学・県立大学連携強化
教職科目や外部委員において、大学間で教員の相互派遣を継続して実施した。
また、両大学の合同研究発表会及び教育方法の改善に関する合同FDセミナーを開催することで、教育・研究面で交流を行った。
- 3 社会・経済情勢の変化を見据えた教育研究組織の点検
医療環境等の変化を見据えて、学部カリキュラム検討班、大学院カリキュラム検討班、教員組織検討班に分かれて検討を行い、看護系講座組織や大学院構成の見直しに着手した。

財務内容の改善に関する目標

- 1 外部資金の獲得
積極的に外部資金の獲得に努めた。
- 2 志願者の増加に向けた取り組み
受験生の更なる取り込みに向け、推薦入試に受験生を出している高校へ訪問説明を行うとともに、高校からの申し込みに応じて模擬授業や大学訪問を受け入れるなど、積極的に広報活動を行った。
北陸新幹線開通を踏まえ、長野県で新聞広告等の広報活動を実施するとともに、認知度向上の観点から、一般県民を対象とした公開セミナーを開催し、広く大学の研究成果を発信した。
- 3 施設・設備の定期的な点検
良好な教育研究環境の維持のため、施設・設備の定期点検を行うとともに、空調設備等の更新を実施した。

自己点検評価及び当該状況に係る情報提供に関する目標

- 1 自己点検評価・認証評価機関が行う大学評価
認証評価機関による7年ごとの評価だけでなく、社会貢献活動や教育研究活動を含めた大学全体の活動を2年ごとに自己点検することとし、新たに大学独自の自己点検評価報告書の作成に着手した。

その他業務運営に関する目標

- 1 地域連携の推進
メールマガジン「石川県立看護大学ニュースレター」の配信を開始し、地域住民や医療従事者に大学の事業案内を行うとともに、今後、医療機関等のニーズ把握に活用していくこととした。また、かほく市や能登町、津幡町等で実施した学生参加プログラム（体力測定、防災訓練等）に積極的に参画し、地域住民との交流を図った。
- 2 法令遵守の強化
 - (1) 個人情報保護の強化
マイナンバー制度の開始やサイバー攻撃の脅威増大に伴い、特定個人情報保護規程等を遵守するとともに、セキュリティ対策の点検やネットワーク機器の更新によりセキュリティ機能の強化を図り、個人情報保護に努めた。
 - (2) ハラスメント防止の促進
ハラスメント委員会を開催し、規定に従い適切に対応し、ハラスメント防止に努めた。